

<p>【学校教育目標】</p> <p>人間尊重の精神に基づき、心豊かな人間の育成を目指すとともに、主体的な社会の形成に参画し、自国と国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う。また、生涯にわたる学習の基盤を培い、基礎的知識及び技能の習得とともに、これらを活用して課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力、その他の能力を育み、主体的に学習に取り組む態度を養う教育を推進する。</p> <p>【目指す児童像】</p> <p>じょうぶな子ども よく考える子ども 思いやりのある子ども</p>	<p>【学校経営の基本理念】</p> <p>「公立プライド」</p> <p>友達と楽しく夢中になれる、学びがいのある学校 同僚と切磋琢磨し合う、働きがいのある学校 保護者・地域から愛され期待される、通わせがいのある学校</p> <p>【目指す学校像】</p> <p>「あいうえおの学校」づくり</p> <p>あいさついっぱい学校 うんどう大好きな学校 えがおがいっぱい学校 おもいやりいっぱい学校</p>
--	---

【本校の総合的な学習の時間の目標】

探究的な見方・考え方を働かせ、自分の生活や身近な地域における横断的・総合的な学習を行うことを通して、唯一の正解が存在しない課題に対して、自他の思いや願いを尊重しながら解決するとともに、自己の生き方を考えることができるようにするために、以下の資質・能力を育成する。

- 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分の生活や身近な地域にはそれぞれのよさやつながりがあることや、諸問題の解決に向けて連携や協力がなされ、そこには自分にもできることがあるということが分かる。
- 自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、価値ある課題を自分で立て、手段を選択して情報を集め、各教科等で学習したことを活用しながら整理・分析して、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。
- 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自他の思いや願いを尊重しながら、身近な地域に自ら関わろうとする態度を育てる。

【本校の総合的な学習の時間の内容】

学年	目標を実現するにふさわしい探究課題	探究課題の解決を通して育成を目指す具体的な資質・能力			
		① 知識及び技能	② 思考力・判断力・表現力等	③ 学びに向かう力、人間性等	
3年	学区のよさやそれを支える人々と、手書き地図の面白さや工夫 (町づくり・ものづくり)	・町のよさを手書きの地図を通して、相手に伝えられることが分かる。 《A 知識》	・アンケートやインタビューを、相手や場面に応じた適切さで実施する。 《B 技能》 ・自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 《C 探究的な学習のよさの理解》	・自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、思いや願いを基に課題を立てる。 《A 課題の設定》 ・目的に応じて手段を選択し、情報を収集・蓄積する。 《B 情報の収集》 ・事実を捉えるために、比較する、分類する、関連付けるなどして情報を整理・分析する。 《C 整理・分析》 ・自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながらまとめ・表現する。 《D まとめ・表現》	・自分なりの目標をもって、友達と協力して粘り強く取り組み、それを通して、自分のよさや可能性を理解しようとする。 《A 自己理解・主体性・協働性》 ・自他の意見や考えの違いに気付き、それを受け入れようとする。 《B 他者理解》 ・身近な地域の問題に関心をもち、自ら関わろうとする。 《C 将来展望・社会参画》
4年	日本の伝統や文化(かた)とその継承に力を注ぐ人々 (伝統文化)	・かたには古い歴史と様々な種類があり、そのよさを取り入れると自分たちでも作ることができることが分かる。 《A 知識》	・情報の質や量、今後の見通しを踏まえ、適切な方法を用いて情報を整理する。 《B 技能》 ・自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 《C 探究的な学習のよさの理解》	・見通しをもって価値ある課題を自分で立て、解決の方法や手順を考える。 《A 課題の設定》 ・目的に応じて手段を選択・工夫し、情報を収集したり、見通しをもって蓄積したりする。 《B 情報の収集》 ・考えるための技法を駆使しながら、情報を整理・分析し、課題に即して判断する。 《C 整理・分析》 ・自分の意見や立場を明確にし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ・表現する。 《D まとめ・表現》	・明確な目的をもって、友達と信頼し合いながら粘り強く取り組み、それを通して、自分のよさや可能性を伸ばそうとする。 《A 自己理解・主体性・協働性》 ・異なる意見や他者の考えを受け入れ、そのよさを生かそうとする。 《B 他者理解》 ・身近な地域の問題を自分事として捉え、自分にできることを考えて自ら関わろうとする。 《C 将来展望・社会参画》
5年	食品ロスをめぐる問題とそれを解決するための取組 (食・資源エネルギー)	・食品ロスをめぐる問題は身近にもあり、小さな取組でも継続することで意識や行動が変わることが分かる。 《A 知識》	・適切にスタンプを使えば文字だけでは難しい感情などを伝えることができることが分かる。 《A 知識》	・自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながらまとめ・表現する。 《D まとめ・表現》	・自分なりの目標をもって、友達と協力して粘り強く取り組み、それを通して、自分のよさや可能性を理解しようとする。 《A 自己理解・主体性・協働性》 ・自他の意見や考えの違いに気付き、それを受け入れようとする。 《B 他者理解》 ・身近な地域の問題に関心をもち、自ら関わろうとする。 《C 将来展望・社会参画》
6年	LINE スタンプによる新しいコミュニケーションの面白さとその商品開発の取組 (情報・アート)	・適切にスタンプを使えば文字だけでは難しい感情などを伝えることができることが分かる。 《A 知識》	・自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながらまとめ・表現する。 《D まとめ・表現》	・自分なりの目標をもって、友達と協力して粘り強く取り組み、それを通して、自分のよさや可能性を理解しようとする。 《A 自己理解・主体性・協働性》 ・自他の意見や考えの違いに気付き、それを受け入れようとする。 《B 他者理解》 ・身近な地域の問題に関心をもち、自ら関わろうとする。 《C 将来展望・社会参画》	

<p>【学習活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学年共通の探究課題と活動計画の下、学級ごとの柔軟な学習活動を展開する。 1年間1単元での取組を基本とする。 児童の興味・関心と教師の願い、教材の特性を踏まえた学習活動を展開する。 	<p>【指導方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「単元・授業づくりガイドライン」に示された1単元・1授業のイメージを基にした指導 「考えるための技法」の積極的な活用 ノート指導の充実 発問の明確化と板書の工夫 	<p>【指導体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学期の始めと終わりに、活動計画の立案や振り返りの時間を設定する。 5年間(H27～R1)の研究成果である「学年指導案集」を活用する。
<p>【学習評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> ポートフォリオを活用した評価の充実 年度末における単元の活動計画の振り返りとそれを通じた評価の実施 	<p>【各教科等との関連】</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科等横断的な学習の推進 各教科等で学習した内容や方法の活用 学級担任と専科教員との連携 	<p>【地域との連携】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者やPTA、サポート松仙の協力 御嶽商店街やライラック通り久が原、学区の商店、特別養護老人ホーム等の協力